

## 五位橋～国東橋

流れがゆるやかな小矢部川は、旧福岡町内を過ぎるとすでに下流の様相を示し、川原はほとんど見られなくなります。また、堤防から河川敷へ降りられる場所も限られてきます。この五位橋と国東橋の間は、堤防から河川敷へ降りて観察できる場所の一つであり、東京書籍の「新編 新しい理科」教師用指導書「北陸・信越版」地方版資料にも、小矢部川下流の様子が観察できる場所として紹介されています。ここでは、ゆったりした川の流れを観察できる場所で、水量の少ない時期には、カーブした川の内側に砂利がたまっている様子も観察できます。なお、河川敷へは、右岸側の堤防沿いから入ることになるが、道があまり広くないので、小規模校向きの場所といえそうです。

観察対象	河川下流部
観察できる人数制限	小規模校に適している
流速の実験の安全性	釣り竿にペットボトルを付ける等工夫が必要
バス駐車スペース	広い場所は少ないので事前に下見が必要
トイレ	なし



入口



川原の状態

